

ネットワーク



△甲子さんは駅北地区の代表的な祭り
〔写真：河野芳夫さん(富士町)〕



富士駅北

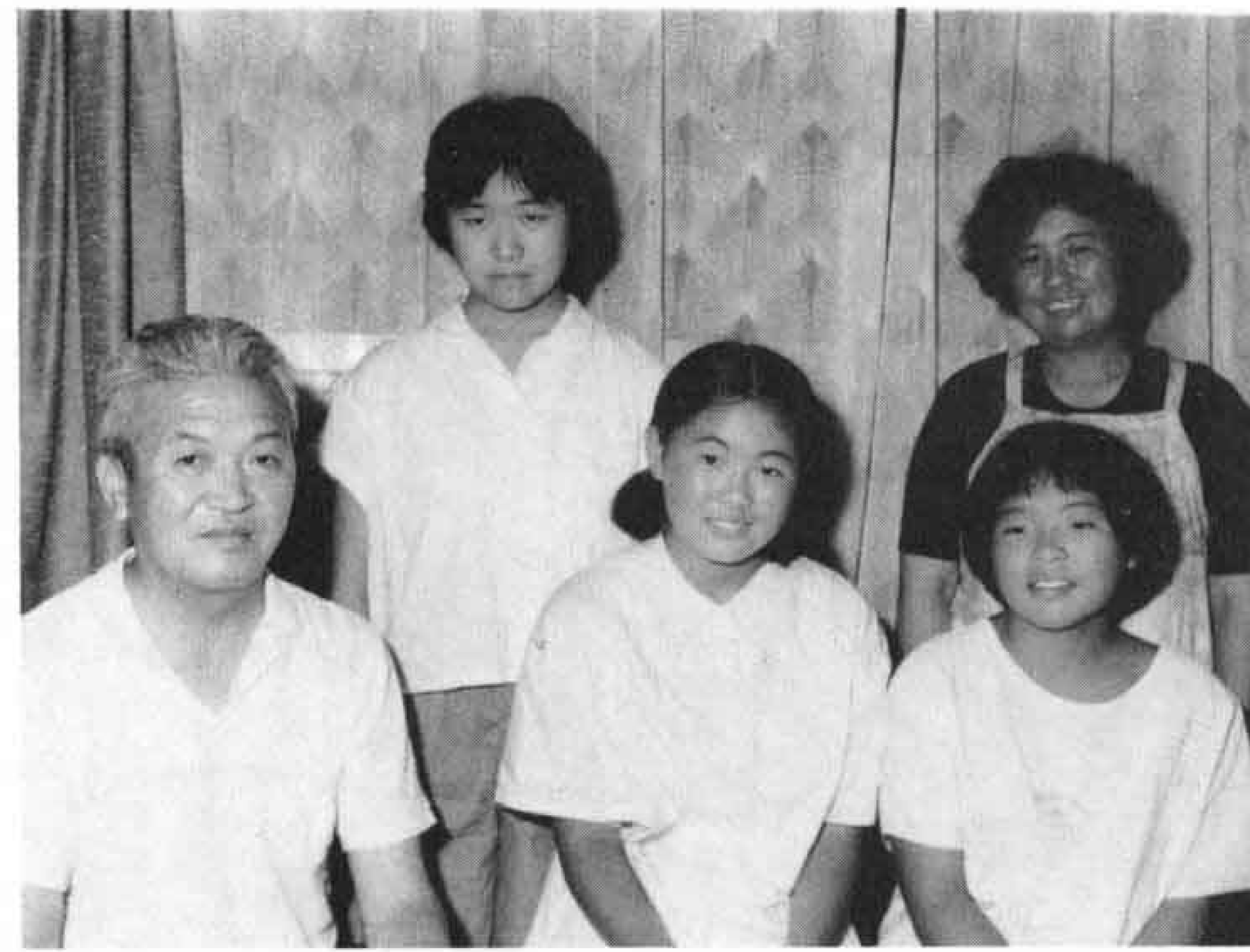
心豊かな 人づくりのまち

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。9月は天間、10月は鷹岡地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

富士駅北地区は、旧富士市の中心街を取り囲む、国鉄富士駅の北側に広がる地区です。このあたりは昔、富士川が乱流していて、わずかの微高地に集落が点在していたにすぎませんでした。

しかし、古郡孫太夫父子三代にわたる治水事業の完成で、いわゆる加島五千石、加島二十九カ村が開拓されました。そして、今のよううな繁栄をもたらしたのは、富士製紙第八工場(今の本州製紙)ができたためと、地区民の熱心な誘致運動により、明治四十二年、国鉄富士駅がこの地に開駅したためです。地区の中心、富士商店街は昭和三十七年からの駅前再開発事業で様相も一変し、近代的な町並みとなり、さらに、最近、営業時間を午後九時まで延長する店も出て、商店街の活性化に一役買っています。地区は、交通の要としての位置にあり、生活施設も整っている。住宅地ともなっています。

また、五味島から本市場にかけて、土地区画整理による新しいまちづくりも進められています。



「私、毎回広報ふじが来るのを楽しみにしているんですよ」と、広報担当者を喜ばせてくれたのがお母さんの昌子さん。

それもそのはず、昌子さんはこれまで、星座教室・親と子の市政教室等、市主催の行事に数え切れない。市主催の行事に数え切れない。

△前列右から崇子さん、敏子さん、享さん
後列右から昌子さん、暢子さん

「星座教室で見た丸火の美しい星や、市民でありながら知らなかった文化財など勉強になりました」と長女の暢子さん。

親子ジョギング教室のときは、往年の長距離ランナーであるお父さん(享さん)がピンチヒッターとして参加し、子供たちに抜かれてしまうというハプニングも。

海野さん一家の方針は「言いたいことが言い合える親子関係」。市の事業に親子で参加し、コミュニケーションを深めてきたので、いまのところ方針どおり。こんなに上手に利用している家庭も少ないのでは…。



親子で行事に参加

中島下 海野さん一家

